

クラス番号	603	担当教員名	火口 弥生
テーマ	認知症高齢者の住環境整備とその人にとって価値のあるケアを考える		
著書・論文	「高齢者・医療・介護・現場からのレポート」大阪民主医療機関連合会編 清風同書店 日本福祉大学大学院修士論文（2005年）		
研究課題等	1 「A介護事業所の開設半年間に見えてきた課題」 2 「A介護事業所の基礎理念ーミッション経営を目指して」 3 「A介護事業所の経営戦略を立てるーSWOT分析法を用いてー」		

ゼミナール概要

キーワード：認知症 住環境整備 ケアのあり方 ケアマネジメント 介護保険

【私の問題意識】

私は、本学の社会福祉学部を卒業後、MSW、障害者・高齢者施設の相談員を経験し、現在は介護事業（居宅介護支援、訪問介護、通所介護、福祉用具貸与、住宅改修）の経営の傍ら、自らも介護支援専門員として在宅支援に携わり、日々、ケアのあり方について模索中です。

その人にとって価値ある生活を支援するために、オーストラリアで生まれた「ダイバーショナルセラピー」（以下DT）の考え方を簡単にご紹介します。『朝、目が覚めたとき ベッドから起き上がる理由をもてるよう手助けすること』これがDTの理念です。「よりよく生きたい」という望みを促進・援助するためにレジャー&ライフスタイルに焦点をあてた全人的ケアの思想です。また、人は誰しも楽しむ権利を有しています。その権利を保障することは本来のケアの目標であると思います。認知症や寝たきりの方との関わりの中で、権利を守ることの難しさを痛感します。目標を達成するためには、ライフスタイルや価値観を知り、生きてこられた時代背景を理解して援助を展開することが必要です。DTについて学び、ケアのあり方を考えていきたいと思います。また、暮らしの基盤となる住環境整備もケアに大きく影響します。安全に安楽に生活できることの支援として住環境整備についても考えていきたいと思います。

【ゼミのねらい】

卒論はゼミ論形式をとります。協同作業を通して、人の意見を聴く力、自分の考えを自分の言葉で表現する力、また、皆の意見をまとめる力を身につけることをねらいとします。テーマの設定から納得のいくまで話し合うことを徹底したいと思います。

【事業計画】

安全、安楽を保障するための住環境整備に関して

- ・ 「ウェルフェアなごや」に参加。福祉用具の目的別活用方法をまとめ、グループ発表
- ・ モデルルームでの高齢者疑似体験や住宅改修例より住環境整備の必要性を考える

認知症のケアについて

- ・ ダイバーショナルセラピーについて文献より学ぶ
- ・ ダイバーショナルセラピーを実践している福祉施設での体験学習

3・4年の合同ゼミや卒業生との交流も実施します。多くの価値観と触れ合うことにより、自分を見つめ直す機会を提供します。

担当教員からのメッセージ



ゼミは自己表現の大切な場です。ゼミの仲間の力を借りて自分を表現することにチャレンジしてください。貴重な時間ですので、遅刻・無断欠席のないようにしてください。